

- 地域循環型のバイオマス燃料で地球温暖化防止に取り組もう -



みんなで薪づくりをしながら、身近な里山や公園の森を育てる取り組みを実践しました。2年目となる今年の会場は長野市南部の茶臼山公園入口。市民の参加によって、薪ストーブの燃料となる薪を作り、自分達で作った薪を使うことで地域循環型の環境保全につなげることがねらいです。3回にわたるイベントでは、外来種のニセアカシアを伐採し薪にしました。伐採した場所は地域に親しまれてきた桜並木と公園の間なので、ニセアカシアを伐採した後は桜の苗木を植栽します。

主催者：  
NPO法人CO2バンク推進機構  
ながのエコシティブロジェクト推進協議会  
協力：長野市役所公園緑地課

**第1回 2009年10月24日(土) 午前~午後**

薪ストーブを使っている市民や森づくりに携わる市民団体や森林組合、市や県の行政の方にも協力していただき、30名で作業を行いました。



ながの環境パートナーシップ会議(堀池さん、片桐さん)と信里地区木資源利用委員会(池内さん、佐藤さん、宮坂さん)、長野森林組合の方々に伐採の指導・協力をしていただきました。樹高20m以上に育ったニセアカシアは、伐採すると道路をふさいでしまう巨大なものでした。



長野地方事務所からチップperをお借りし、作業のご指導もお願いしました。



参加者は、チェーンソーで玉切りしたり、薪割り機を使いながらたくさんの薪を作りました。この日の作業で、軽トラック満載10台分程度の玉切り材や薪が作れました。地域の再生可能エネルギーである木質バイオマスの有効活用であり、地球温暖化の防止につながります。





## 第2回 2009年10月24日(土)午前

長野青年会議所(JC)との共同開催で、森づくりと資源利用の体験講座を開催しました。子どもから大人まで103名の参加者があり、伐採作業やクラフトづくりなど、にぎやかで楽しい会になりました。



ながの環境パートナーシップ会議(市民の森ながの)の堀池さんの青空教室では、森を育てるための間伐やニセアカシアの伐採などについてのお話をお聞きしました。



まずはしっかりと伐採する樹木を観察し、倒す方向を決めることなどを理解しながら、安全に気をつけながらノコギリで樹木を伐採しました。



皆で力を合わせ大きな樹木を伐採! みごとな伐採の成功に、思わず万歳です。

樹木はチップにしたり、薪にして、有効活用することを体験しました。



## 第3回 2009年11月28日(土)午前~午後

第3回目となるイベントには、チェーンソーを初めて使うという方から、薪ストーブ歴の長いベテランまで、市内および近郊から27名の参加者があり、充実した会になりました。



講師・作業指導は、信里地区木資源利用委員会と長野森林組合から森づくりに携わっている方々にお問い合わせしました。的確で丁寧なご指導により、初めての参加者も伐採の体験ができました。

枝先から太い幹まで、伐採した樹木を有効活用することを学びました。帰りのトラックは、燃料となる木質バイオマス資源を満載です。





今年のイベントでは、延べ160人の市民・市民団体等の参加者により、樹高20mを超えるような大きなニセアカシアを57本も伐採し、たくさんの薪を作ることができました。この伐採によって、地域に親しまれている桜並木を公園までつなげたり、素晴らしい善光寺平の眺望を楽しめる場所に整備することもできました。伐採された樹木は、薪ストーブユーザーによって貴重な木質バイオマス資源として活用され、地球温暖化防止と環境整備の役割を果たしました。参加してくださった皆様に感謝しております。開催にあたり、長野市公園緑地課、長野県長野地方事務所林務課の皆様、そして講師や技術指導を引き受けてくださった方々など多くの関係者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきました。心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。



SBC信越放送にて、テレビのスポットCMである『わたしたちエコ・キッズ宣言』で紹介されました。(2009/11初旬の1週間放映)



SBC信越放送 『エコロジー最前線』  
(2009/12/05土曜日15分番組)



# まき作り CO2減らそう

## 長野で体験イベント

NPO法人「CO2バンク推進機構」は24日、まき作り体験イベントを開いた。写真。

同機構は、2004年に省エネルギーの普及と啓発のために、有識者や技術者が設立した。まき作りは昨年引き続き2回目。市民約80人が長野市篠ノ井岡田の茶臼山公園に集い、路肩に生える高さ約20センチのアカシア約30本を、地域の森林組合員などに教わりながら切り倒し、まき作りをした。参加者はまきを持ち帰り、まきストーブの燃



料にする。「木材を伐採して化石燃料の代わりに使うことで、CO2の削減と森づくりに役立つ」と同機構の宮入賢一郎理事長(46)は

読売新聞2009/10/27

話す。機械でのまき割りを体験した長田千奈さん(7)は「初めてやったけど、楽しかった。切った木はバーベキューに使う」と笑顔で話した。

### 茶臼山公園恐竜口付近

# ニセアカシア伐採へ

茶臼山公園恐竜口付近に繁殖する外来植物ニセアカシアを伐採し、既存の桜並木延長や伐採樹の利用促進につなげる森林整備・活用の体験会が10月24日から3回、現地で開かれる。

恐竜公園に至る市道約200メートルの両側には高さ約20センチのアカシアが100本以上育ち、既存の桜並木が寸断されている。ニセアカシアは繁殖力が強く、市公園緑地課によると「意図して植え

たのではなく、飛散した種などから自然に育ったのでは」という。体験会は、長野市内の環境NPO法人「CO2バンク推進機構」などが主催。ニセアカシアを伐採した跡に桜の苗木100本を植

## 桜苗木植え並木に 24日からNPOが体験会



ニセアカシアが繁殖する茶臼山公園恐竜口付近

え、恐竜口までを結ぶ桜並木実現を目指す。

森林整備の体験会は10月24日と11月14日、

28日の3回、同じ内容で午前9時〜午後3時に開催(雨天中止)。CO2バンク推進機構は、場所や内容を柔軟にも参加し、チェーンソーの扱い方を教える。伐採し玉切りをした木は、まき用に持ち帰ることができる。参加費は傷害保険料など込みで1人2000円。まきを大量に持ち帰る人は同3000円。

28日の3回、同じ内容で午前9時〜午後3時に開催(雨天中止)。CO2バンク推進機構は、場所や内容を柔軟にも参加し、チェーンソーの扱い方を教える。伐採し玉切りをした木は、まき用に持ち帰ることができる。参加費は傷害保険料など込みで1人2000円。まきを大量に持ち帰る人は同3000円。

# 間伐材をまきに

## 茶臼山公園恐竜口付近で体験会



# ニセアカシア枝払い

外来種のニセアカシアが繁殖し、既存の桜並木が寸断されている茶臼山公園恐竜口付近で24日、まきストーブ利用者を対象に、森林整備と間伐材を活用するまき作り体験会が開かれた。体験会は11月14日、28日にも行う。参加費は1人2000円。問い合わせはNPO法人CO2バンク推進機構(☎285・5370)へ。

特定非営利活動(NPO)法人 CO2バンク推進機構

〒381-2217 長野市稲里町中央三丁目33番23号  
TEL 026-285-5370 FAX 026-254-7301  
E-MAIL CO2bank@nifty.com URL http://www.co2bank.org/